

子育て相談窓口

●子育てサポートセンター

依頼会員と協力会員でつくる組織です。協力会員はセンター主催の講習会を受講後、会員登録になります。

子育てサポートセンター講習会

と き 6月18日(土)、25日(日)
午前9時30分～正午
ところ 市福祉会館

☎市社会福祉協議会

☎080(2781)3642

●妊娠期から子育て期までの相談

☎菊池市子育て世代包括支援センター「きくぴあ」(子育て支援課内)

☎0968(25)1121

●子育ての情報や育児相談

☎こども健診センター(泗水支所内)

【育児相談受付時間】

平日 午前9時～午後4時

☎0968(25)1183

●保育所、認定こども園の一時預かり

●保育士等人材バンク

●ひとり親家庭などに関する相談

☎子育て支援課

☎0968(25)7214

●児童虐待、DV相談、子どものこと、女性の悩み相談

☎子育て支援課 相談室直通

☎0968(25)1399

●病児病後児保育

☎菊池みゆきこども園「カンガルーのポケット」

☎0968(25)3602

インタビュー



市保育協議会 柱松 真朗 会長(雪野)

子育て世帯のために、保育士の力を貸してほしい

市内では慢性的に保育士が不足しています。例えば1・2歳児の場合、保育士1人につき6人までしか保育をすることができません。

現在、市内では待機児童は発生していませんが、このまま人員不足が続くと、待機児童が発生する見込みがあり、子育て世帯の負担が増える可能性があります。

保育士が不足してしまうと、安心して子どもを預けることができなくなります。

保育士は、子どもの成長を間近に感じられ、保護者とも喜び合える素敵な仕事。資格を持っている人は、各保育園への連絡、もしくは市保育士等人材バンクに登録をお願いします。

会員でした。制度を知った時、頼れる人がいるんだと感じて、すごく安心したことを覚えています。今は地域へ恩返しをするために協力会員を続けています」と笑顔を見せます。子どもの送り迎えを頼みたい、歯医者に行きたいといった場合など、子どもを一時的に預かってもらえるのが、子育てサポートセンター制度です。「少しの手助けで孤立や虐待防止のきっかけにもなっているのかなと思います。私のような『おせっかいさん』を増やしたいですね」と川口さんは話します。

子どもを取り巻く環境の変化

少子高齢化、核家族の増加など、

子どもを取り巻く環境は近年、大きく変化しています。自分の子育て方法が合っているのか分からない、子育てに対する悩みを共有できないなど、孤立を感じる家庭も少なくありません。市では、妊娠・出産から子育てまで、さまざまな悩みを受け付ける相談窓口として、子育て支援課内に子育て世代包括支援センター「きくぴあ」を設置。泗水支所内の「こども健診センター」では、育児相談を随時受け付けています。また、子育てサポートセンター制度の他、就学前の親子がのんびりすごせる場所として、市内各地に子育て支援拠点を整備。地域や社会での居場所づくりを進めています。



子育て支援課 藤本 加津美 課長

社会全体でサポートを進める

「育児は休みなく毎日続きます。一人きりで育児をする「孤育て」にならないように、地域とつながりを持つ、相談できる場所をつくっていかなくてはけません」と話すのは子育て支援課の藤本加津美課長。安心して子どもを育てるために、保育園などを含め社会全体で子育てのサポートを進める必要があります。



預かった幼児と過ごす、川口裕美子さんと娘・歩乃佳ちゃん。裕美子さんは「娘の成長にも良い影響を与えています」と笑顔。

【特集】子育て支援

笑顔になれる場所

近年、地域のつながりの希薄化、共働き家庭の増加により、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。子育て世帯をサポートするためにできることを考えてみませんか。

【問い合わせ先】

子育て支援課 ☎0968(25)7214

地域へ恩返しをしたい

「笑顔がかわいいね」。川口裕美子さん(片角)の自宅では子どもたちとの会話がはずみます。裕美子さんは子育ての応援を頼みたい人(依頼会員)から、一時的に子どもを預かり、子育て世帯のサポートに取り組む「子育てサポートセンター」制度の協力会員として、昨年から活動しています。「もともと私も依頼



つどいの広場 ひだまりで行われた読み聞かせ会

親子の姿を温かく 見守ってくれる場所

乳幼児とその保護者が気軽に集える場所である、子育て支援拠点。親同士の交流も広がっており、利用者のストレス発散や気分転換ができる、なくてはならない場所になっています。

親子をサポートしたい

「一緒に遊ばせよう」「次はこれで遊ばせよう」。中央図書館から楽しそうな声が聞こえてきます。ここは0歳から就学前の親子の居場所や相談など、地域の子育てをサポートする「つどいの広場「ひだまり」」。4月から中央図書館内に移転して、活動しています。

毎月、子育て講座などのイベントを開催。親子が来ることができるよう、部屋を自由に開放しています。子どもが遊んでいるそばで、スタッフが子育てや家庭の悩み相談にも応じています。会話をすることで、利用者のストレス発散や気分転換にもなっています。

「ここは、親子が気軽に遊びや交流ができる場所。話を聞く

ことで、少しでも気持ちが楽になっただけでもうれしいです」と話すのは、つどいの広場ひだまりの藤本由貴子さん（片角）。「コロナ禍で自宅で子どもと閉じこもりがちになっている家庭も多いと聞きます。子育てに煮詰まりそうになった時、誰かと話したい時に保護者が気軽に立ち寄れる場所になりたいです」と続けます。

交流の輪が広がる

利用者は結婚や転勤を機に市外から来た人など、地元以外の親子もいます。「居心地が良いのでほぼ毎日利用しています。ここで友達ができ、交流の輪が広がりました。子どもの成長をみんなで見守ってくれる「ひだまり」はそんな温かい場所です」と利用者は笑顔を見せます。



つどいの広場 ひだまり
藤本由貴子さん（片角）

市の地域子育て支援拠点

【つどいの広場】

ひだまり（中央図書館内）
☎080(1714)9818

あいあい（こども健診センター2階）
☎090(6893)5971

ひなたぼっこ（七城老人福祉センター内）
☎090(8916)4666

【子育て支援センター】

さくらんぼハウス（菊池さくら保育園内）
☎0968(24)3880

ふ・く・も・と・の・森（福本保育園内）
☎0968(38)4651

スマイル新明（新明保育園内）
☎0968(37)3126

妊婦さんやお父さんも利用できます。

あなたの
「笑顔になれる場所」は
どこですか

「逃げた金魚はどこかな〜？」
「ここ！ やっぱここっ！」

自宅で
協力会員のもとで
子育て支援拠点で
知らない人同士でも
子育てをとおして会話は弾み
笑顔は広がります

地域で、社会で
子どもたちと一緒に育てていきませんか



⑥から緒方芳美さん（北原）、椿ちゃん、糸岡久美子さん（北原）。「ひだまりのスタッフは母のようにいつも優しく私の話を聞いてくれます」と芳美さんは笑顔。